

○ バードウォッチング～カラスザンショウの実に集まる鳥は？～

1. 日時：2020.11.1 (日) 9:30～ 12:20 天気 晴れ
2. リーダー：M、N ききみみメンバー：2名
3. 参加者数：大人 17名 子供 9名 対象者：小学生以上
4. ねらい：この時期に熟すカラスザンショウの実を食べにくる鳥を観察する。
5. 活動場所：センター 中央広場 北門
6. 活動内容：メジロ、コゲラ、ヒタキ類の観察

時間・場所	内 容
9:30 ベランダ	<ul style="list-style-type: none"> ・当日は参加者、初心者ともに多く、恒例の自己紹介は省いてスタッフ(ききみみずきんのメンバー)のみ紹介する。 ・初心者コースと経験者コース2班に分けて行動。 ・初心者コース対応：U、T 経験者コース対応：M、N ・コース説明 カラスザンショウの木の説明 見られる鳥の説明
9:50	<ul style="list-style-type: none"> ・出発 ④番の辺りで鹿母子3頭⑤番で雄1頭(角が少し出ている)観察 ・鹿の食害、特定種(シダ、馬酔木等)のみが残る事を説明する ・⑥～⑦番でメジロの群れを3か所で見ると
10:20 中央広場	<ul style="list-style-type: none"> ・中央広場から広い舗装道路を下って行く、両側の所々にあるカラスザンショウの木を注意しながら下って行く。 ・北門手前のカラスザンショウの木に二日前までムギマキ、キビタキが出ていたとの情報を鳥の出現待ちのカメラマン3名から聞き御一緒させてもらう。時間待ちの間に1名の方からフィリピンの鳥をタブレットで見せて頂く。(この方は8年間フィリピン在住、昨年日本に帰られた)他の方から科学館前の池にオシドリ10羽程が来ているとの情報を頂く。30分程待つもなにも出てこず、来た道を帰る。途中ヤマガラが5～6羽至近距離で次から次へと出て、同時にシジュウカラ、コゲラも出て皆様大変喜ばれた。
11:45 桜山貯水池	<ul style="list-style-type: none"> ・中央広場から南へ桜山貯水池に下り、池のカモ類他5～6種を確認。ヨシガモ♂が1羽だけおり、頭の緑色や三列風切がカールして大きく垂れ下がる等説明。
12:10	<ul style="list-style-type: none"> ・センター到着 鳥合わせ
12:20	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回収 解散

7. ふりかえり

- ・ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ハジロカイツブリ、カワウ、コサギ、オオバン、ミサゴ、コゲラ、モズ、カケス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ジョウビタキ、カワラヒワ、ホオジロ、(24種)
- ・貴重なムギマキ情報を得、時間をかけて待機しましたが抜けた後のようで、朝には出たキビタキも出ず残念でした。来年に期待したいと思います。
- ・結果的にここでの30分間が時間オーバーにつながり、参加者の皆様にご迷惑をおかけしました。反省しています。

8. リーダーの感想

- ・タイミングが合わずカラスザンショウの実を食べるのはメジロぐらいしか見られませんでした。
- ・リピーターの方も多く来られ、それなりに定着しつつあると思います。

9. その他(資材・配慮など) フィールドスコープの用意。